

令和元年度戦略3重点支援プロジェクト一覧(エクステンション事業)

取組	プロジェクト名称	PJ担当者	プロジェクト概要
1-2	山陰の地域課題研究を通じた人口希薄化社会の新たな価値発見・創造のための教育研究プログラム	【統括】工学部 福山 敬	
	④地域住民を対象としたリカレント教育(地域資格制度)の検討及び実施	太田 隆夫	人口減少や高齢化が急速に進む現状においては、基礎自治体による事業だけでは、安全安心な地域社会の維持が難しくなっている。特に多数のインフラの老朽化や、自然現象の極端化による災害の増加・激化に対応するためには、地域社会の構成員である住民を対象として、これらの現状を理解し、インフラ維持管理や防災・減災に資する活動等に携わり、安全安心な地域社会の創成・維持に貢献できる人材の育成が必要である。本プロジェクトでは、身近なインフラの異常に気づき管理者にその情報を提供することで地域のインフラ維持に資する人材、防災について十分な意識と一定の知識・技能を持ち、地域の防災力向上に貢献できる人材の育成を目的とし、そのための講習プログラムや育成人材に付与する資格の制度を構築し、鳥取県内各地で実施することを目標とする。
1-3	山陰の地域課題研究を通じた人口希薄化社会の新たな価値発見・創造のための教育研究プログラム	【統括】医学部 深田 美香	
	⑤まちの検査室 ～検査をとおして健康をみよう～	佐藤 研吾	本プロジェクトは、気軽に立ち寄れる健康相談室である「まちの保健室」事業と、「検査」の観点から地域貢献の一部を担うことを考え、「まちの検査室」という名称とした。地域住民と医療関係者の「顔の見える」関係を構築し、地域医療の課題や住民の意識啓発に貢献することを目的としている。 また、本学保健学科においても、「地域の健康課題に対応した、高いコミュニケーション能力と臨床実践力を備えた全人的医療人である専門職業人の養成」を掲げており、学生への卒前教育として多職種連携やコミュニケーション学習の重要性を理解してもらう必要があると考える。
	⑥けんこう茶屋 ～地域交流をとおした健康発信拠点づくり～	徳嶋 靖子	少子高齢社会において、ひとりひとりの健康は個人の生活にとどまらず、地域全体の活力につながると考えられる。地域の中で病気にならないように予防をしようという意識づけ、健康づくりのきっかけづくりの場を提供することにより健康維持・介護予防につなげることを目的とする。継続して取り組むことにより「地域に密着」し「歩いて行ける健康の場」を目指している。また、学生が地域住民との交流をとおして地域で暮らす意義や暮らし続けるために医療職にできることを考え、学ぶ貴重な場となっており、地域と大学の双方向の関係を築く活動である。